
学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成

～ 主体的・対話的で深い学びを支えるメディア教育の推進 ～

メディア教育研究部会

1 研究主題について

中学校の新学習指導要領が2021年度より全面実施となり、そのポイントとして「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、「資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、(略)教材・教具や学習のツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要。」とされた。そこでGIGAスクール構想の「児童生徒1人1台端末」の整備が2023年度を目標として進められたが、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校措置により、その整備が前倒しにされ、2020年度中にはほとんどの学校で整備されることとなった。環境の整備は整ったが、配布された端末を「どう使うか」については各自治体・学校に任されており、新学習指導要領を踏まえつつ、ICTでどのように使えば授業改善につなげるかといった研究を更に推し進める必要があると考えている。

2 研究の概要

(1) 役員研修会 令和3年2月理事会

(2) NHK杯全国中学校放送コンテスト 中止

(3) 夏季研修会 中止

3 成果と課題

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でほぼ全ての研修会が中止となり、研究については各郡市及び各学校での研究となったため、各郡市の成果を抜粋した。

(1) 高松地区

屋島中学校で令和4年度にメディア研究大会が行われる予定である。附属高松中ではZOOMを利用して朝の会や質問教室を実施した。

(2) 坂出・綾歌地区

体育で映像遅延アプリを使って自分の跳躍を実施後に確認する授業を行った。

オンラインでの授業や朝の会でZOOMやTeamsを活用した。

(3) 丸亀地区

研究授業の指導を県教育センターとオンラインで行ってICTの活用を進めた。

島しょ部ではZOOMを用いて他校との交流を行った。

(4) 小豆地区

iPadと教室のTVを使い、NHKの10min.ボックスやYouTubeの映像を、導入や実験しにくい現象の提示に活用している。

(5) さぬき・東かがわ地区

「オンライン会議」の方法とそのツールについての講義を受け、実際に実践を行い、問題点を洗い出した。

(6) 仲多度・善通寺地区

ZOOMを使っての授業や集会などを行った。またAI型教材のQUBENAを利用した数学の学習や動画配信のYouTubeで限定公開をし、自宅学習に利用した学校もあった。

(7) 三豊・観音寺地区

ZOOMやCisco Webex Meetingsを利用し、夏休みにオンラインで朝の会を行った。また、3年生を対象とした診断対策の授業を行った。

4 課題について

GIGAスクール構想の前倒しにより、年度内に各地区で1人1台環境は整備できると思われる。しかし、それを利用する教師の研修や新学習指導要領を実施する中で、ICTをどのように使うと効果的か等の研究はまだ始まったばかりであり、本部会でも積極的に研究を進めたい。